

## 特集にあたって

## Overview of the feature

大竹秀明\*

近年、気候変動や地球環境の温暖化などの影響とみられる極端気象が国内外において頻発している。また、昨年（2021年）には真鍋淑郎博士（プリンストン大学）が地球温暖化予測に関連してノーベル物理学を受賞されるなど、気候変動に関する世の中の関心も高まりつつある。国では第6次エネルギー基本計画（経済産業省、2021）も2021年10月に閣議決定され、太陽光発電を含めた再生可能エネルギーは主力電源化のために積極的な導入を促進するとともに、2050年に向けたカーボンニュートラルの社会実現に向けた具体的な方針も示された。この将来の社会像を実現するためには、国民一人一人の気候変動を意識した生活や社会活動の中での取り組みが大事である。一方、具体的にどのような影響が実社会に引き始めているのか、気候変動に対する適応策や緩和策にはどのような取り組みがなされ、これから必要なのかを学ぶ、または議論する機会も必要となろう。また、大きな課題への解決には、個々の活動や努力に加えて、多様な業種、専門分野が連携することで解決の糸口が見つかる場合もあるだろう。

このような背景の中、2022年1月20日（13～18時）に気象・環境セミナー「気候変動」（太陽光発電部会主催、以下、本セミナー）がオンラインにて開催された。当日は、講演者、聴講者含めて約50名の参加があった。

本セミナーでは、気候変動に関連する国内での研究動向について様々な分野で活躍する研究者に講演を頂き、問題意識や課題整理、課題解決に向けた活動について議論を行った。具体的には、森林火災・エアロゾル、極域気候と積雪、台風、洪水、水産業の話題を取り上げて頂いた。講演内容と話題提供者は以下の通りである。

①気候変動適応に関する研究の推進と地域との連携：

国立研究開発法人 国立環境研究所 気候変動適応センター長 向井人史

②森林火災とその大気汚染及び気候変動との関係：  
北海道大学北極域研究センター 准教授 安成哲平

③グリーンランド氷床では今、何が起きているのか？—温暖化の最前線からの報告—：  
気象庁気象研究所気象予報研究部 主任研究官 庭野匡思

④地球温暖化が台風に及ぼす影響～これまでとこれから～：  
気象庁気象研究所応用気象研究部 主任研究官 山口宗彦

⑤「Today's Earth」を用いた全世界から市町村スケールの洪水予測：  
東京大学生産技術研究所 教授 芳村圭

⑥気候変動と海洋生物資源：  
北海道大学大学院地球環境科学院 准教授 藤井賢彦

ここで、話題提供を頂いた講演者の皆様の集合写真のスクリーンショットを次に示す。

\* 国立研究開発法人 産業技術総合研究所



写真：上段左：庭野氏（気象研），上段上：大竹（産総研・司会進行），上段右：芳村氏（東京大），中段左：安成氏（北海道大），中段中：藤井氏（北海道大），中段右：山口氏（気象研），下段中：向井氏（国立環境研）

今回も参加者限定ではあるが、講演後のYouTubeによる配信を行い、当日参加できなかった聴講者や講演内容を復習したい方のための準備も行い活用頂いた。視聴回数を見ると最大31回再生されている講演があるなど、全体的にセミナー後も多くの参加者に視聴頂いたと感じている。

## アンケート内容

講演後にはオンラインシステムを退出する際に、アンケートに記載頂いた（回答数11）。回答数がやや低調ではあるが、セミナーの難易度については、難しかった、やや難しかったと回答した方が4名おり、ちょうど良い、やや易しかったと回答した方がそれぞれ6名、1名であった。

本セミナーで関心があった講演については、どの講演も同程度に関心の高さがあることが示されていた。関心があったキーワードについては、本セミナーの主テーマである「気候変動」以外に洪水、台風、地球温暖化、気候変動適応センター、温暖化への適応、森林火災、大気汚染、気候変動現象の過去と将来、Today's Earth、グリーンランド氷床、海洋酸性化、海洋生物が挙げられていた。

また、本セミナーの感想も伺った。その一部を紹介すると、「普段は聞く機会の少ない気象研究の話がゆっくりと聞けて大変有意義であった」、「高い専門性を持つ先生に最新のお話をしていただき勉強になった」、「気候変動の基本についてのコンセンサス形成が重要」、「各講演者の地球温暖化対策への専門分野からのアプローチがユニークで刺激的な内容であった」、「市民が気候変動を身近に感じる様にすることも急務」などの多くの意見を頂いた。

本セミナーをきっかけに新しい知識、気候変動への関心がさらに高まって頂けたなら主催した者として目的は果たせたものと考えている。次頁からは講演者の中から向井氏（国立環境研）、庭野氏（気象研）、藤井氏（北海道大学）から寄せられた自身の講演内容や議論をまとめて頂いたので、熟読頂ければ幸いである。

## 参考文献

経済産業省，第6次エネルギー基本計画が閣議決定（2021年）

URL <https://www.meti.go.jp/press/2021/10/20211022005/20211022005.html>